

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	終末期に関する意向は契約時に「重度化した場合や終末期の意向」について説明しているが、その後は実際に終末期を迎える間際まで、意向の確認が取れていないケースが多い。	「日々の暮らしの意向」のみではなく、その延長線上にある「重度化した場合や終末期の意向」の把握に努め、ケアプランへ反映されるものとしていく。	利用者との日々の関わりから本人の人生観や価値観を汲み取り、思いや言葉などを支援ノートへ記載して情報を共有する。利用者の健康状態や日々の様子等を家族に連絡する際にも、適切な情報を伝え、意向の把握に努めていく。	1年
2	35	令和2年度は感染対策の観点から、火災・自然災害共に十分な訓練は行えなかった。災害はいつ発生するかわからないため、様々な場面を想定した訓練をおこない、災害への対応力強化を図る必要がある。	年2回の火災避難訓練、水害・地震の災害訓練を様々な介護場面を想定し実施、災害時の緊急初動対応マニュアルを整備し、全職員が把握できるようにする。	各ユニット2名ずつ、災害対策委員会を設置、年間の災害訓練の内容や対策を検討する。実施後に問題点、改善点を振り返りマニュアル整備、訓練に参加できなかった職員にも個別で対応し、全職員が災害対策について把握できるようにする。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。